

中学校名	区	主な入試の変更点と予測
九段中等教育(公立中高一貫校)	千代田区	模試では、中堅の学力層、特に女子の希望者が増えている。男子は希望者の学力水準が少し上がっている。千代田区民枠は2016年入試並みの応募者が見込まれるが、区民以外の都民枠は、男女とも少し難化するかもしれない。注意した方がよい。
開智日本橋	中央区	2015年に日本橋女学館が埼玉県の開智の系列となって校名を変更、共学化した学校。応募者は大幅に増加し、一気に難化した。2017年は、2月1日午後の適性検査型入試を廃止するなどの変更がある。人気は続いており、模試の希望者数は男女とも増えている。4コース制それぞれ少しずつ難化するかもしれない。注意が必要な学校。
慶應中等部	港区	模試では、女子の希望者が若干増えていて、男子は2015年とあまり変わらない。女子の希望者増は難度が変わるほどではなく、男女とも2016年入試並みの難度になると思われる。
広尾学園	港区	各回次の定員配分を若干変更する。模試では、2015年に続いて男女・各コースとも希望者が概ね増加しており、人気が上がっている。特に、比較的上位の学力層の増加が男女とも目立っている。また、2月2日午後の医進サイエンスは、中堅の学力層を中心に、少し敬遠傾向も出ている。医進サイエンスと1日午後、2日午後のインターは2016年入試並みの難度だと思われるが、1日午前午後、5日の一般入試は難化の可能性が高い。要注意校である。
東海大高輪台	港区	入試の変更点はなし。模試の希望者数は、男子はやや減少、女子は少し増えている。2月1・3・5日の3回とも2016年入試並みの難度になると思われる。
目白研心	新宿区	5回の入試日を2月5日から4日に前倒し。模試では回次によって希望者の増減が見られるが、難度面では各回とも2016年とあまり変わらないと思われる。
東洋大京北	文京区	2月4日の入試を「哲学」思考・表現入試として、思考力問題や論述問題を出題する入試に変更。模試では概ね各回とも希望者が増加傾向で、特に女子は他校併願前提の希望者の増加が目立つ。2月1日午前午後の1・2回は、2016年とあまり変わらない難度だと思われるが、2日午前の3回は少し難化するかもしれない。注意した方がよさそう。
駒込	文京区	2016年までは入試回次によって募集コースを分けていたが、2017年から全日程で2コース募集とし、テストの結果でコースを決める形になる。模試では、志望順位が高い希望者が増加傾向で、特に男子が目立っている。女子は2015年とあまり変わっていない。難度が動くほどの動きではなく、各回両コースとも2016年入試並みの難度になると思われる。
郁文館	文京区	特選入試を2月4日も増設、2月1日午後、4日の2回とも英語選択を可能にする、面接中心の未来力入試をルーブリック評価型入試に改称するなどの変更がある。模試では各回とも希望者数に目立った動きはなく、2016年入試並みの難度になりそう。
貞静学園	文京区	適性検査型入試を増設。小規模なので、2016年とあまり変わらない入試になりそう。
東邦音大東邦	文京区	小規模なので、2016年とあまり変わらない入試になりそう。
筑波大附属(国立)	文京区	入試の変更点はなし。模試の希望者数がやや増えているが、もともと高難度の学校なので難度には影響しないと思われる。2017年も高難度の入試になることが予想される。
お茶の水女子大附属(国立)	文京区	模試では女子の希望者数が少し減っている。隔年現象で難度に影響するほどではない。男女とも2016年入試並みの難度になりそう。
学芸大竹早(国立)	文京区	模試によって希望者の動向に違いが見られるが、あまり大きな動きではなく、2016年入試並みの難度になりそう。
小石川中等(都立中高一貫校)	文京区	都立中高一貫校の中で一番のトップレベル校。模試では男子の希望者が増えている。女子は模試によって違いが見られるが、全般的にはやや増加といったところ。難化が予想され、注意が必要。
上野学園	台東区	D日程を2月5日から4日に変更。模試では各回とも希望者数に目立った動きはなく、2016年入試並みの難度になりそう。
白鷗高附属(都立中高一貫校)	台東区	男子の人気はやや上がり、女子は少し人気に陰りが出ているよう。男子はやや難化するかもしれない。女子はもともと高倍率なので、入りやすくなることはなさそう。
両国(都立中高一貫校)	墨田区	選抜の変更点はなし。模試の希望者数は男女ともやや減っている。もともと高倍率なので、入りやすくなるほどの変化ではない。
安田学園	墨田区	各入試の定員配分を変更。模試では、志望順位が高い希望者が男女とも少し減っている。併願前提の希望者は女子で増加が目立つ。先進特待各回と2月1日午前の1回は2016年入試並みの難度だと思われるが、2日午前や3日午前は、今後も女子の希望者の増加傾向が続けばやや難化する可能性もある。
日大第一	墨田区	入試の変更点はなし。模試によって希望者の動きに違いが見られるがいずれも小幅。各回とも難度は変わらないと思われる。
かえつ有明	江東区	2月2日に思考力特待入試を新設するなど、思考力入試の比率を高めている。グローバル教育を全面的に打ち出していて、都内男女校で最多の応募者を集めた年もあったが、難化が進んだためかやや敬遠ムードが出ているよう。模試の希望者数は2015年並みか、やや減っている回次も目立つ。午後の特待入試は各回とも難度は変わらないと思われるが、午前入試の各回は若干入りやすくなるかもしれない。
青稜	品川区	2月4日の3回を廃止し、1日と2日のそれぞれ午前午後のみ入試とする。通常このような施策を行うと敬遠ムードが生まれがちだが、模試では、男子は各回の希望者が少し減っていて、女子は増えている回次が多くなっている。女子は人気が上がっていることがわかる。入りやすくなることは考えにくく、各回とも2016並みの難度は維持すると思われる。
文教大付属	品川区	入試の変更点はなし。模試では男女とも希望者が少し減っていて、各回ともやや入りやすくなるかもしれない。
日出	目黒区	一部の入試日程を前倒しする。例年通り小規模な入試になると思われる。
多摩大目黒	目黒区	入試の変更点はなし。模試によって希望者の動向に違いがあるが、総じて男女とも早い日程の特待特進入試の希望が増えているよう。遅い日程も、再挑戦の受験生がいるので、最終的には2016年とあまり変わらない応募者数になると見込まれる。午前入試の進学コースも含め、各回とも難度に変化はなさそう。
日本工大駒場	目黒区	人気にあまり変化は見られず、各回とも2016年入試並みの難度になりそう。



中学校名	区	主な入試の変更点と予測
目黒学院	目黒区	人気にあまり変化は見られず、各回とも2016年入試並みの難度になりそう。
桜修館(都立中高一貫校)	目黒区	選抜の変更点はなし。模試では、男子に変化は見られないが、女子は比較的学力上位の希望者が増えて、中堅の学力層はやや減っている。高倍率の人気校で作文型の適性検査もあるので、難度の変化はなかなか予測しにくい。女子は難化するかもしれないと思っていた方がよさそう。男子は2016年入試並みの難度になると思われる。
立正大付属立正	大田区	2月2日午後入試を3日午前に移すなどの変更がある。模試では、早い日程で男子の希望者がやや増えているが難度が動くほどではなく、各回とも2016年入試並みの難度になると思われる。
清明学園	大田区	人気にあまり変化は見られず、各回とも2016年入試並みの難度になりそう。
東京都市大等々力	世田谷区	2月3日午後入試をS特選チャレンジとし、4日午前をS特選チャレンジから思考力入試に変更。模試では、比較的高い学力層の希望者数に目立った動きは見られないが、中堅の学力層の希望者は、2月1日午前午後、2日午前午後で増加傾向。遅い日程は、希望者が少し減っている模試もあるが、早い日程の不合格者が再挑戦するので、実際の応募者はあまり減らないと思われる。S特選は難化しないと思われるが、特選・特進コースは各回とも少し難化するかもしれない。
三田国際学園	世田谷区	インターから本科へのスライド合格を取りやめるが、入試そのものには大きな変更はない。模試では、インターの一部の回次で応募者がやや減っているものもあるが、本科は全体的に希望者が増加傾向で、人気が上がっている。インターは求める英語力の水準が高いことから、難度はあまり動かないと思われる。本科各回は少し難化しそう。注意が必要。
東京農大第一	世田谷区	入試の変更点はなし。模試によって希望者の動向に違いがあるが、男子は総じて中堅の学力層の希望者がやや増えている。女子は他校併願前提の比較的学力上位の希望者が少し増えている。2月1日午後の1回は2015年並みの難度だと思われるが、2日午後の2回と4日午前の3回はやや難化する可能性がある。注意した方がよい。
成城学園	世田谷区	入試の変更点はなし。模試では、女子は2月1日の1回、3日の3回とも2015年並みの希望者数だが、男子は少し減っている。来春は男子が少し入りやすくなるかもしれない。女子は2016年入試並みだと思われる。
松蔭	世田谷区	人気にあまり変化は見られず、各回とも2016年入試並みの難度になりそう。
国士館	世田谷区	人気にあまり変化は見られず、各回とも2016年入試並みの難度になりそう。
学芸大世田谷(国立)	世田谷区	入試の変更点はなし。模試では、男子に目立った動きはないが、女子の希望者数は増えている。女子はやや難化するかもしれない。男子は2016年入試並みの難度になると思われる。
渋谷教育渋谷	渋谷区	入試の変更点はなし。模試では、2月1・2日の1・2回は男女とも概ね2015年とあまり変わらない希望者数で、5日の3回は減っている。3回は少定員で、1・2回の不合格者が再挑戦するので、各回とも難度に変化はないと思われる。
青山学院	渋谷区	入試の変更点はなし。模試によって動向に違いが見られるが、比較的上位の学力層の希望者はやや増えている。2月2日が入試だが、上位の学力層の受験生の多くは、1日に最難関校を受験するとみられる。応募者が増えても難化するとは限らないが、注意することにしたことはない。
宝仙学園理数インター	中野区	英検2級程度の力が求められるグローバル入試を、2月1日午後と4日午後に変更。プレゼンテーション型のリベラルアーツ入試を、2月4日の午前から午後に移し、2月1日午後にも増設。適性検査型入試を2月1日午前に変更。2月2日午前・3日午前の4科入試を廃止。これらは、グローバル対応、21世紀型対応を強める変更。模試では、2月1日午前と2日午後・3日午後の特待入試の希望者が増えていて、他の回次は2015年とあまり変わらない。難度面は各回とも大きくは変わらないと思われる。
実践学園	中野区	2月4日に日本語表現力入試を新設し、定員配分も変更。模試では回次によって希望者の増減が見られるが、難度面では各回とも2016年とあまり変わらないと思われる。
新渡戸文化	中野区	小規模な入試の学校。入試に一部変更はあるが人気はそれほど変わらず、2016年とあまり変わらない入試になると思われる。
東大附属(国立)	中野区	入試の変更点はなし。模試によって希望動向に違いが見られるが、独特の存在であることもあり、難度は変わらないと思われる。
富士高附属(都立中高一貫校)	中野区	選抜の変更点はなし。人気が上がっているようで、模試の希望者数は男女とも増えている。ただ、もともと高倍率であり、難化するとしても小幅だと思われる。
国学院久我山	杉並区	入試の変更点はなし。模試では、男子は全体的に希望者が増加。女子はST選抜で、中堅と比較的上位の学力層の希望者の増加が目立つ。併願前提の受験生が多いST選抜は、応募者が増えても難度はあまり変わらないと思われる。一般入試は男子が各回とも少し難化するかもしれない。注意が必要。一般入試の女子はあまり変わらないと思われる。
日大第二	杉並区	面接を廃止。模試では2月1日の1回、3日の2回とも、男女そろって希望者が増えている。グラウンド整備も含めて新校舎が完成したことも人気上昇の大きな理由。1・2回とも少し難化すると思われる。要注意校である。
東京立正	杉並区	小規模な入試の学校。入試に一部変更はあるが人気はそれほど変わらず、2016年とあまり変わらない入試になると思われる。
淑徳巣鴨	豊島区	入試を大きく変更。「特進」と「進学」の2コース制から、「進学コース」入試を取りやめ、別途「スカラシップ入試」を新設、2月2日に未来力入試を新設(科目は思考の基礎力と思考の展開力)、英語入試も開始する。模試の希望者数は、各回とも2015年並みか少し増えている。希望者増加は、一般1回や2月5日の3回で目立つ。難度面では、「スカラシップ」各回は2016年までの特進よりも1ランク上になりそう。2016年までの「進学コース」のレベルだと合格は難しくなりそう。注意が必要。
城西大城西	豊島区	2月1日午前午後入試で英語を選択できるようにする。2月2日午前入試を適性検査型とする。模試では希望者の増減も見られるが、いずれも難度に響くほどではない。各回とも2016年とあまり変わらない難度になりそう。
順天	北区	定員配分を一部変更する。模試では各回とも希望者がやや減っており、各回とも少し入りやすくなるかもしれない。
桜丘	北区	思考力入試の日程を一部変更。模試では希望者の増減も見られるが、いずれも難度に響くほどではない。各回とも2016年とあまり変わらない難度になりそう。
東京成徳大	北区	2月7日の入試を5日に繰り上げ。模試では希望者の増減も見られるが、いずれも難度に響くほどではない。各回とも2016年とあまり変わらない難度になりそう。

中学校名	区	主な入試の変更点と予測
成立学園	北区	小規模な入試。入試に一部変更はあるが、2016年とあまり変わらない入試になりそう。
駿台学園	北区	小規模な入試。入試に一部変更はあるが、2016年とあまり変わらない入試になりそう。
武蔵野	北区	小規模な入試。入試に一部変更はあるが、2016年とあまり変わらない入試になりそう。
淑徳	板橋区	定員配分を一部変更する。模試によって希望者の動向に違いがあるが、概ね男子は東大セレクトがやや増加、女子は2月1日午前午後の入試で少し減少気味。増減幅はあまり大きくないこと、もともと併願前提の受験が多いこともあって、各コース各回とも難度はあまり動かないと思われる。
帝京大帝京	板橋区	入試の変更点はなし。模試では希望者の増減も見られるが、いずれも難度に響くほどではない。各回とも2016年とあまり変わらない難度になりそう。
学芸大国際(国立)	練馬区	入試の変更点はなし。2016年入試並みの難度になりそう。
大泉高附属(都立中高一貫校)	練馬区	選抜の変更点はなし。模試の希望者数は、女子が少し減っている。男子も減っている模試も見られる。倍率水準が高いため、難度面は2016年とあまり変わらないと思われる。
共栄学園	葛飾区	比較的小規模な入試。入試に一部変更はあるが人気にあまり変化はなく、2016年とそれほど変わらない入試になりそう。
修徳	葛飾区	比較的小規模な入試。入試に一部変更はあるが人気にあまり変化はなく、2016年とそれほど変わらない入試になりそう。